

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月11日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400036		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター	ユニット名	グループホーム
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成27年9月23日	評価結果 市町村受理日	平成28年4月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年11月19日	評価機関 決 済 日	平成28年4月11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・地元老人クラブ会員の皆様のご協力で施設隣に畑を借りて一年中の管理をしてくださり、季節ごとに野菜を植え付け、利用者様と一緒に収穫を楽しみ、採れたて野菜を給食に提供しております。</p> <p>・施設駐車場周辺の餅草やふきのとうを摘み草餅やてんぷらにするなど自然とふれあって頂いております。又、職員が持ち寄った柿の皮を剥いて干し柿作り、栗の皮を剥いて甘露煮、筍や蓴の下ごしらえなど、四季折々を感じて頂いております。</p> <p>・洋裁の仕事をしていた利用者様に施設内の衣類の繕い物をお願いしております。又、職員が持ち寄った不要となった端布で採寸、型取りまでを自ら行い手縫いのベストを仕上げました。</p> <p>・庭先の花や草木、山野草などを卓上に飾り季節感を楽しんでおります。</p> <p>・近隣保育園・小中学校の運動会や発表会への参加や慰問を受け入れ、交流の機会を大切に地域とのつながりを継続しております。町内高校生吹奏楽慰問を受け、ホールでの発表会を聴きに行きました。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は奥久慈の四季の景観が楽しめ、敷地内でヨモギやふきのとうなどの山菜が採取できるなど、季節をいつでも感じられる場所に立地している。</p> <p>利用者の持てる能力を維持するために、職員は利用者と一緒に餅つきをしたり、恵方巻や山菜の天ぷら作りを楽しめるよう支援をしている。</p> <p>管理者と職員は利用者を家族として受け入れ、常に笑顔で接しながら利用者が家庭と同様な生活ができるよう支援している。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時に職員が話し合い作成した事業所理念を、事業所内正面壁の見やすい場所に掲示しております。又、職員証ホルダーケースに理念を常備して各自で黙読復唱しております。月1回の職員ミーティング時に唱和して共有に努め理念に添ったサービス実践につなげております。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を事業所開設時に管理者と職員で作成し、居間兼食堂に掲示するとともに、職員は昼食後のミーティングや職員会議で話し合い、職員証に各自理念を携帯して共有し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣保育園の慰問や中学校の福祉体験の受け入れ、小学校の収穫祭・特別支援学校の発表会へ出向き交流を持っております。各学校の運動会では玉手箱へ参加して地域の方々との交流を楽しんでおります。地域老人クラブ様の協力を頂き野菜づくりを楽しんでおります。近隣の方々へ参加を呼びかけ納涼祭を楽しみました。	事業所は保育園児が来訪したり、中学生の福祉体験の場として提供するほか、小学校の収穫祭や運動会に招待されて競技に参加したり、特別支援学校の発表会に出向くなどで交流している。 水戸藩YOSAKOI連や高校の吹奏楽部、老人会のボランティア等を受け入れるほか、事業所主催の納涼祭では地域住民の多数の参加を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	面会や相談へいらした方やご家族様へ、認知症症状への理解や支援方法をお話させていただいております。運営推進会議等でも折に触れ説明等を行っております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会を構成し、2ヶ月に1度の会議開催時には『事業所便り』を配布して事業内容や利用者様の現状を報告しております。ご家族様アンケートや外部評価内容や結果も細やかに相談、報告しております。会議での意見等やご指摘を職員会議等で話し合いサービスの質の向上に努めております。	運営推進会議は利用者の家族等の代表や町職員、地域包括支援センター職員、民生委員、老人会長、地域住民代表、職員等で2ヶ月毎に開催している。 事業所からは利用者の状況や運営状況、外部評価の結果などを報告するとともに、出席者から出た要望や意見等を全職員で検討してサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には町福祉担当職員、包括支援センター職員から、町の介護福祉の情報を頂いております。又、役場窓口訪問して、ご利用者様の介護認定情報を頂いたり、入退所や待機者状況などの報告を随時行なっております。	管理者は町担当者を随時訪問し、要介護更新申請や介護保険法改正の情報などを得たり、地域包括支援センター職員から町の介護福祉の情報を得るなど、良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	契約時に重要事項説明書にて身体拘束の禁止についての説明を行い同意を頂いております。身体拘束マニュアルを事業所内目に付くところへ備え、内部研修を実施して身体拘束の具体的な行為の確認を行っております。やむを得ず身体拘束を行なう場合に備え、『緊急やむをえない身体拘束に関する説明書』を準備しております。防犯の為玄関はオートロックになっておりますが、日中は時間を決めて解錠しております。	事業所は身体拘束排除に向けた研修会を定期的実施するとともに、日々の支援で疑問が生じた場合は、身体拘束に関するマニュアルで確認し、身体拘束をしない介護に努めている。玄関は防犯のためオートロックを採用しているが、日中は時間を決めて解錠をしている。やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて「同意書」や「経過観察記録」、「再検討記録」等の書類を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解を図れるよう努めてゆきます。日常の業務の中でも、職員同士お互いに注意を払いながら、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内外で権利擁護について勉強する機会を設け、職員間で共通の認識と理解深められますよう努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書や契約書及び利用料金について、ご家族様やご利用者様の理解、納得が得られますよう十分な説明を行なっております。内容の変更や改定等の際には事前に文書にてお知らせするよう契約書に明記して契約時に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族様にも参加して頂き、町職員・民生委員・地域住民代表の方や事業所職員との意見交換の場を作っております。年1回ご家族様へ無記名でのアンケートを実施して、ご家族様の思いを汲み上げ、結果を職員会議や運営推進会議で話し合い運営に反映させております。	利用者からは日々のふれ合いの中で、家族等からは運営推進会議の出席時や面会時に意見や要望を聴いている。 年1回無記名の家族アンケートを実施し、家族等の意見を汲みあげて職員会議で検討している。 アンケート結果は家族等にも公開している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回の職員会議や主任会議に参加して、職員からの意見や要望を聞く機会を設けております。又、職員一人一人と話す機会を作るよう心掛けて、職員が気兼ねなく意見を出せるよう配慮しております。	管理者は月1回の職員会議や主任会議で、意見や要望を聞いているほか、日々の業務や会話を通じて職員の意見等を聞くように努めている。 職員の提案で夜間のパッドを利用者の使用量に合った物に変更し、利用者が快適に過ごせるようになった。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年度自己評価シートの提出を行い、職員個々の職場環境や労働条件などに対する意見や希望を参考として、職員各自がやりがいや向上心を持って働けるよう環境や条件の整備に努めています。今年度から、人事考課制度を導入する為の準備を行なっております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修に参加できる機会を作っております。職場内では常に職員の活動に目を配り力量を把握して、必要な助言や指導を行っております。職員の希望を確認しながら課題を検討して月1回の職場内勉強会を実施しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人事業所の合同会議や研修会に参加して情報交換や検討会を行ない、サービスの質の向上に努めております。町主催の研修会に参加してネットワーク作りに取り組んでおります。年始には法人職員が一同に会し、決起集会を行い交流の機会を作っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用を開始していただく前にご本人様との面談を行い、会話の中の何気ない言葉に耳を傾け、ご本人様の思いを感じ取り受け止められますよう、受容と傾聴の姿勢に努めております。表情にも気を配り、細やかな説明を行ないながら、不安を軽減して安心して利用していただけますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前の準備段階を通して、ご家族様に不安や要望を気兼ねなくお話していただけますよう傾聴、共感しながら話しやすい環境、雰囲気作りに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談において、ご本人様やご家族様が今必要であろうと思われるサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要として居る場合には、情報提供や紹介などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の個々の心身の状態に合わせて、日常生活の中の掃除、洗濯、調理などのお手伝いをして頂いております。長年培った生活の中の知恵や工夫などを教えていただき、人生の大先輩として敬いながら多くの会話や行動を共にする事で、共に生活する者としての関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の心身の状態の変化や気付き等、細やかに連絡を取り常に情報を共有しながら支援しております。不安の多い利用者様には電話にてご家族様と話をしたり面会に来て頂けるよう支援しております。家族様とのつながりを継続できます様、お手伝いさせて頂いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通いなれた理美容院や主治医受診、馴染みの店での買い物等が出来ます様、連絡や送迎、付き添いを行っております。ご家族様との関係も継続出来ます様、ご本人様の希望時の電話などのお手伝いをしております。ご家族様や知人の面会は時間制限することなく対応させて頂いております。年末には直筆で年賀状を書いて自宅へ送っております。	契約時に利用者や家族等から、これまでの友人関係や馴染みの場所等を把握している。 利用者の希望で家族等と一緒に自宅に外泊したり、墓参りや馴染みの美容院に出かけている。 職員は知人等が面会に訪れた場合には、時間制限をしなかったり、年末には年賀状作成の手伝いをするなど、これまでの関係が継続出来るよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を常に把握して座席の配置などにも気を配り、利用者様が孤立せず、関わりを持ちながら生活できます様、声掛けや誘導を行ないながら支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様の希望により、自宅近くの施設へ入所のため当事業所を退所された方への面会を行い、その後の経過等を見守っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様お一人お一人の暮らしに対する思いや意向を把握できます様、基本情報や生活歴を把握するよう努めております。毎日の生活の中で発する何気ない言葉や仕草などからも思いを感じ取る様努め、支援経過への記録や申し送りにて、情報を共有するよう努めております。	職員は利用者との日々の関わりの中で、希望や思いを把握するとともに、支援記録等に記載して情報の共有化を図り、利用者本位の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込みの時点から利用開始まで訪問などを行い継続してご本人様・ご家族様への聞き取りなどで必要な情報の把握に努めております。又、他事業所との連携を図り情報収集を行い、現状に至るまでの経過等の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご自分で出来ている事、支援が必要な事を抽出し、お一人お一人の生活リズム表を作成して職員間で共有しております。日々の生活を記録して申し送り、情報を共有できるよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のご本人様や、ご家族様の意向をお聞きして、更に毎月のモニタリング表や支援経過記録やご本人様の何気ない言葉や行動を基に課題を把握して、職員で話し合い作成しております。利用者様の心身に変化が生じた時や必要時には見直しを行ない、現状に即した介護計画を作成するよう努めております。	毎月モニタリングを実施するとともに、短期目標を3ヶ月、長期目標を12ヶ月として利用者や家族等の参加を得たサービス担当者会議で話し合い、1年毎に見直している。 利用者様の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子や変化、気づき等は個別の生活記録へ記入し、特に重要と思われる事柄は『申し送りノート』へ記入して、必ず職員が目を通して各自サインを義務付け情報の共有に努め実践や介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の対応が困難な時には受診同行や、買い物援助など日々変化するニーズに応じ柔軟な対応をさせて頂いております。入院時にご家族様の対応が困難な利用者様の洗濯や介護用品補充なども行ない支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者が毎日を安心して過ごす事ができます様主治医や他医療機関、消防関係機関との連携を図っております。又、日常生活が楽しみのある豊かなものとなれます様、近隣保育園、小中学校や特別支援学校、地元高校、長寿会との交流や行事参加が受け入れなども行なっております。隣の畑をお借りして野菜づくりを行い手入れや収穫を楽しんでいただいております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年信頼関係を築いてこられた「かかりつけ医」への受診継続を支援しております。受診はご家族様対応を基本として、受診時には生活状況をお伝えし情報提供しておりますが、ご家族様の都合が付かない時には受診同行して主治医との連携を図っております。その際は必ずご家族様へ結果を報告しております。	かかりつけ医への受診は、家族等の付き添いを基本としているが、緊急時や家族等の付き添いが困難な場合には、職員が受診支援をしている。 家族等から受診結果の報告を受けているほか、職員は電話等で家族等に受診結果を報告している。 協力医療機関への毎月の定期的な受診を支援しているほか、訪問看護師が週1回来訪している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタル測定を午前午後2回行い健康チェックにて体調変動の早期発見に努めております。週1回の看護師訪問時には個々の情報提供を行い、特に気になる状態や変化が見られた時には相談して適切な受診や看護が受けられますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様が入院となった場合には、安心して治療が受けられ早期退院ができます様、医療機関への情報提供を行います。入院期間中は状態確認の為面会等を行い経過観察や聞き取りを行い日ごろから医療機関との連携が図れますよう支援させていただいております。ご家族様が遠いご利用様の入院時には衣類洗濯の支援も行なっております。	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の段階で重要事項説明書において事業所の終末期に向けた対応を明記してご家族様に説明を行い同意を頂いております。又、看取りについての事前確認書にてご本人様・ご家族様の意向を事前に確認しております。「終末期介護マニュアル」や「重度化した場合の対応に関する指針」を作成し、職員間で話し合いや勉強会を実施して方針の共有に努めております。	事業所は看取り介護を行う方針であり、入居時に重度化や終末期のあり方について、「重要事項説明書」や「看取りについての事前確認書」、「重度化した場合の対応に係る指針」で説明し、利用者や家族等の同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用様の急変や事故発生時に備えて、AED使用方法や看護師による緊急時の対応方法やパルキメーター使用方法などの勉強会を定期的に行なっております。	/	
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ご利用様も加わって夜間を想定した避難訓練を職員全員が体験し身に付けられる様、毎月計画実施して、年1回は消防署員、車両の派遣を要請して消火訓練を実施しております。運営推進委員も交えて地震体験車も体験する等協力体制構築にも努めております。	事業所は避難訓練を毎月実施して記録を残すほか、運営推進委員を交えて地震体験車を体験してもらうなど、協力体制の構築に努めているが、避難訓練に地域住民の参加を得るまでには至っていない。 災害に備えて、飲料水や米、食料品、毛布等を品名や個数、期限等を記載した備蓄品リストを作成して管理している。	運営推進会議を通じて、地域住民や近隣企業への避難訓練への参加を呼びかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し尊厳ある声掛けを行い、入浴や排泄関係の声掛けは耳元で行い、外で待つなどプライバシーに配慮して支援しております。個人情報に関する書類は事務所内鍵のかかるキャビネットに保管して個人情報の保護に気をつけております。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、特に入浴時や排泄支援では、目立たずさりげなくその人だけにかかるような言葉かけや、利用者の尊厳を大切にしながらプライバシーを損ねない対応に努めている。 契約書等の個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかる書棚に保管し、取り扱いに十分注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご利用者様と関わる機会を多く持つ事で、ご利用者様の発する言葉に耳を傾け、行動や表情にも気を配るよう努めております。入浴時にはご自分で着替えを準備できるように声掛けを行ったり、外出時のメニュー選択等可能な限り自己決定が出来るよう働きかけを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は強制することなくお一人お一人のペースに合わせて過ごして頂けますよう支援しております。食後の自室での休憩やテレビ観賞、施設内散歩など其々ご本人様のペースで過ごしております。入浴もご本人様の希望や気分に合わせて日程変更しながら対応させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせご本人様の好みの衣類を着用できます様ご家族様と連絡を取りながら衣類の入れ替えや整理等の支援を行っております。頭髪が伸びてきましたらご家族様へ連絡して、馴染みの理美容室を利用し、好みのスタイルを楽しめますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	歩行可能な利用者様には配膳下膳や使用後のお盆拭き等も行なっております。又じゃが芋の皮むきや豆のへた取りなど野菜の下ごしらえなどもお願いしております。職員と一緒に餅つきや恵方巻き作りや山菜のてんぷら作りなどを実施して、長年培ってきた力を活かしますよう支援しております。	職員は季節の花が飾られたテーブルで、食事介助をしながら一緒に食事をしている。利用者は出来る範囲で、野菜の下ごしらえや配膳、下膳等を担っている。献立は利用者の嗜好を把握し、苦手の食材の場合には代替食を用意するなど、食事を楽しめるように支援している。誕生会には利用者の希望により、手作り饅頭を提供したり、正月にはお汁粉などを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様お一人お一人の好みや摂取量に合わせて形状も変える等調整しております。認知症の進行で摂取量低下しているご利用者様には工夫しながら少しでも口にさせていただけるよう支援しております。又一目で摂取量がわかるよう記録しております。水分補給の回数も多く取り十分な水分補給に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。自力歩行可能なご利用者様の中には自ら洗面台に向かう姿も見られ、習慣となっております。移動が難しい方にはコップや吐出し用ボールをテーブルへ運ぶなど状態に合わせた支援を行っております。夕食後は義歯を洗浄剤へ浸けて消毒を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご利用者様お一人お一人の排泄パターンを記録把握し、リズムに合わせてトイレ誘導しております。夜間排泄回数が多いご利用者様の希望により夜間自室へポータブルトイレを設置、翌朝片付けをしながら自立に向けた支援を行っております。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、個人の排泄リズムに合わせてトイレ誘導を行い、出来るだけトイレで排泄が出来るように取り組んでいる。夜間は利用者の要望で、居室にポータブルトイレを配置し、自立に向けた支援を行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食に乳酸菌飲料やおやつにヨーグルトを提供、ラジオ体操や健康体操を日課として身体を動かす機会を作り、便秘予防に努めております。排泄管理表に記録して個々の排泄管理を行なっております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	高齢者様の身体的な負担を考慮しまして、週2回の入浴となっておりますが、ご利用者様の状態や希望に応じて臨機応変に施行日変更など対応させて頂いております。個浴となっておりますので自宅のようにゆっくりと入浴していただけます。季節に合わせて柚子やりんご、菖蒲、入浴剤を使用したり、仲の良い利用者様が一緒に入るなど入浴を楽しんでいただけますよう支援しております。	入浴は週2回を基本としているが、希望があれば毎日でも入浴が出来るようになっている。入浴を拒む利用者には、時間や職員を替えたり、声かけの仕方を変えるなどして、無理のないように促している。菖蒲湯や柚子湯、林檎湯で、季節感を味わいながら入浴が楽しみなものになるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様のご希望や体調に合わせて居室での休息を自由におとり頂いております。夏場の暑い時期には就寝1時間前エアコンで適度な室温調整、冬場は湯たんぽを準備して布団を暖めるなど、心地良く眠っていただけますよう支援しております。お酒の好きなご利用者様への就寝前の適量摂取もご家族様の希望を受け支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人の情報書をお預かりして個々のファイルに綴じ込み服薬状況を全職員が把握して、毎日の管理を行なっております。点眼薬に関しても漏れや重複が無いように、チェック表を作成して職員全員で管理しております。常に、個々の状態把握に気を配り支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫の仕事をしていた利用者様には衣類の繕い物をお願いしております。毎日の生活の中で、掃除・洗濯干しやたたみ、炊事など個々の能力に応じた役割を持ち張りのある生活が送れますよう支援しております。玄関脇にベンチを設置して日向ぼっこや散歩、シャボン玉を行なったり、畑へ行き草引きや野菜の収穫を楽しむなど気分転換ができます様支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様の希望を取り入れ、外出を計画し公用車にて職員同行で外出する機会を作っております。又、近隣住民の協力を得て作った野菜の収穫を楽しんでおります。ご利用者様の体調に合わせた外出や屋外散歩、近隣学校の運動会や収穫祭、発表会等の行事に参加するなど、地域住民との交流の機会を作っております。	利用者の体調に配慮しながら、近隣に散歩に出かけ、季節の山菜等を摘んだり、自家菜園で茄子や胡瓜、カボチャなどの手入れや収穫をしながら、外気浴と自然を楽しめるように支援している。 利用者の希望で、竜神峡や大子のつつじヶ丘、大洗水族館など、普段は行けない場所にも出かけている。 外出時には刺身などの外食も楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭能力の低下してしまっているご利用者様に対してはご家族様と話し合いの上、事業所において金銭管理を行ない、収支報告を行なっております。金銭管理をご希望のご利用者様にはご家族様のご理解の下で、外出時の買い物が出来ます様支援させて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望に応じ、何時でもご家族様へ電話をして会話をすることで家族とのつながりを感じていただけます様支援しております。暮れには、御家族様宛に直筆で年賀状を書いていただき投函してつながりを感じて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は広いスペースで大きな天窓があり、明るい空間となっており、夏場は遮光のためブラを取りつけ、エアコンにて温度も一定に保ち心地よく過ごせる場所となっております。707には観葉植物や職員が持ち寄る季節の草花を飾って季節を感じて頂いております。707からガラス張りの中庭が見渡せ季節や天候を感じていただけます。玄関は大きなガラスとなっており四季を彩る奥久慈の山々の景色が眺められるようになっており、入口に設置したベンチで山を眺めているご利用者様もおられます。	適温に管理した居間兼食堂は、大きな天窓が設置されており、明るく過ごし易い場所となっている。 フロアーには観葉植物や職員が持ち寄る花が置かれているほか、ガラス張りから見える中庭や奥久慈の景観から季節を感じることができる。 壁面には利用者が制作した習字の作品や塗り絵、職場体験をした中学生の葉書や行事の写真等を掲示している。 玄関の内外には椅子が設置されており、利用者の語らいの場となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには大きなテーブルを設置して団欒が持てるようになっております。他に小テーブルを設置して気の合う利用者様同士が語り合える場所も作っております。壁際にソファや、玄関内や外にもベンチを設置して其々の場所で自由な時間を過ごしていただけますよう工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使い慣れた、思い入れのある家具家財やお気に入りの品物を持ち込んでいただきご本人様ご家族様好みの居室作りを支援しております。衣類や寝具の季節の変わり目にご家族様に入れ替えをさせていただいております。ご家族様や可愛がっていたペットの写真など自由に持ち込んでご自宅のように心地よく過ごしていただけますよう配慮しております。	居室にはエアコンやベッド、クローゼット、床頭台、カーテンが備えつけられ、利用者は寝具や椅子、時計、ラジカセ、家族の写真、思い出の犬の写真など、馴染みの物や思い出の物品を持ち込んで、居心地よく暮らせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部壁には手摺を取り付け自立歩行、安心安全な移動移乗が出来ます様配慮しております。床の段差を無くす事で車椅子使用のご利用者様も自走して自分の行きたい所へ移動する事が出来ています。各居室には馴染みの物やお気に入りの物を設置して、自室と認識できるよう配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター

作成日 平成28年4月20日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	運営推進会議を通じて、地域住民や近隣企業への避難訓練参加を呼びかける事を期待する。	運営推進会議を通して地域住民や近隣企業への避難訓練への参加を呼びかける。	現在も運営推進会議時に避難訓練を行い、地域住民代表会員が参加しての避難訓練を行っておりますが、近隣企業への参加も呼びかけてゆきます。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。